

入院時診療計画書(透析導入期指導連携を受けられる方へ)

診療科: 腎臓内科

入院病棟: 2病棟6階

患者I D:

病名:


目標:

患者氏名:

様

症状:

入院期間: 約 13 日間

経過日付	入院日口	2日目	3~6日目	7~11日目	12日目(退院検討日)	退院日	退院時初回受診時
ゴール(到達目標)	①透析導入に問題がない ②尿毒症の症状・所見がない ③不均衡症候群の症状・所見がない ④ブラッドアクセスに問題がない ⑤日常生活の注意点についてわかる ⑥栄養管理についてわかる ⑦合併症についてわかる ⑧疾患についてわかる ⑨透析についてわかる	②教育に伴う精神的負担がない	①教育に伴う精神的負担がない ②日常生活の注意点についてわかる ③栄養管理についてわかる ④合併症についてわかる ⑤水分管理についてわかる ⑥有害事象についてわかる ⑦自己管理の必要性がわかる	①日常生活の注意点についてわかる ②教育に伴う精神的負担がない ③栄養管理について述べる事ができる ④合併症についてわかる ⑤緊急時の対応についてわかる ⑥有害事象についてわかる ⑦自己管理の必要性についてわかる	自己管理の必要性についてわかる ①教育に伴う精神的負担がない ②日常生活の注意点についてわかる ③疾患についてわかる ④栄養管理について述べる事ができる ⑤自己管理の必要性がわかる	 ☆☆☆ 書類退院後に後日、よつ診退受て断院診は書後日各その回で受他外来に付の来常なりが日をまます必要なら場合えら受診日を待たず受診してください 1-15 番窓口へお申し出ください	
治療処置	入院時薬剤師がお薬を全部調べます 入院中に薬剤師より薬剤指導があります 午後より血液透析が開始となります 痛み止めのテープを貼ります	透析日および時間は前日お知らせいたします					退院までに薬剤師から薬剤指導があります
検査	体重測定(朝食前1回) 血圧測定(朝食前と夕方) レントゲン 心電図 検査予定があれば前日または当日説明します 制限はありません						
安静度	転倒転落予防のDVD視聴し 転ばないようにしてください						
食事	腎臓病食 間食は控えてください 栄養相談の日程を調節します					2回目の栄養相談を受講します	
排泄	室内のトイレを利用して入院中は 全ての尿をためてください				11時まで尿をためてください 11時からは流してください		
清潔	透析日は入浴できません しっかり足も観察しましょう						
説明・指導	受け持ち看護師がお話を伺い 入院中の諸説明をします 医師とともに教育入院に 関する説明があります 入院診療計画書など必要な書類を お渡ししますので署名が終わったら 看護師へ提出してください 「透析と生活」の パンフレットをお渡します 病棟、透析センターのスタッフ 一緒に勉強していきます ペンレスを貼る位置を決めます 医療制度について医療社会福祉士から説 明があります	病棟看護師 「腎臓の構造と動き」 「ペンレス・ブラッドバンについて」 「検査データと透析手帳について」 「感染予防について」 1-2日目 3-6日目	透析センター看護師 「不均衡症候群」 「血圧低下」 「血液透析について」 「ダイアライザーについて」 「食事指導」(カリウム・塩分) 透析導入日 透析2回目 透析3回目	「血圧測定」 } 7日目 「感染対策」 } 「排便コントロール」 } 「運動、旅行」 } 8日目 「出血の対処方法」 } 「感染の予防と対処方法」 } 9日目 「シャント閉塞の予防」 } 「シャント閉塞の徴候と対処方法」 } 10日目 「フットケア」 } 11日目 退院できるか検討します	「シャントとは」 } 透析4回目 「止血方法」 } 「体重・水分管理」 } 「ドライウエイト」 } 透析6回目 「血糖」 } 「合併症」 } 透析7回目 「食事指導」(エネルギー・リン・たんぱく質) } 透析5回目	医師と一緒に入院中の目標が 達成できたか話をします 次回透析日までの 日常生活の注意点をご説明します 看護師が退院時の書類をお渡ししますので、 退院承諾のサインをして提出してください	

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。

※病状等に変化がございましたら、その都度ご説明をさせていただきます。ご不明の点がございましたらお申し出ください。

特別な栄養管理の必要性	有・無
総合的な機能評価	該当する場合別紙にて評価

主治医:

担当看護師名:

患者(親権者あるいは代理人) 氏名:

倉敷中央病院 腎臓内科

説明者:

説明日: 年 月 日